

あおば・わかば
マイホーム自慢



もえぎ(男子) あさぎ(女子)の中舎二ホール(食事は男女
合同の食堂)。幼児から高校
生までのおよそ九十人が生
活しています。子どもたちが
支えているのは、児童指導
員、保育士、心理士、医師(非
常勤)、看護師、栄養士、調理
員、事務員、パート職員合
せて約六十人。

あおば館わかば館それぞ
れのホームを紹介します。

した。十年目の平成二十五年、あおば館は中舎一ホームを二つの小規模グループに改修、平成四十一年に向けてすべてのホームを小規模化する家庭の養護推進計画を進めています。

あおば館は、ひのき(男子)けやき(同)もみじ(女子)の中舎三ホーム、しらかば(女子)さくら(男女幼児)の二ホームが小規模。わかば館はもえぎ(男子)あさぎ(女子)



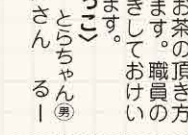
(男女幼兒)

考える力を育て、言葉の引き出しを豊かにするため、四季の変化や、日本のしきたりを意識し、良質な感動を体験できるような生活づくりに心がけています。

＜年中行事＞

動植物園、水族館、科学館、夏の宿泊外出、浴衣で楽しむ夏祭り、長島アンパンマンミュージアム、四季折々のしきたり、その他招待行事など。

(お茶の作法)
 (表千家 講師
 印藤)
 静かな時間
 の中で、美し
 い言葉づかい、
 美しい所作とお茶の頂き方
 を勉強しています。職員の
 皆さんをお招きしておけい
 々に励んでいます。
 へ八人のちびっこ
 優勝が素敵。とちちゃん(男)
 愛嬌が、お姉さん
 ちゃん(女)



●夢見る乙女　るりちゃん(女)
 ●いつもマイペースで
 いるかちゃん(女)
 ●絶対負けたくない　あお
 ちゃん(男)
 ●整理整頓されい好き
 うちゃん(男)
 ●記憶力バツグンかわい
 いみーちゃん(女)
 ●二歳の女王様　ゆみちや
 ん(女)
 ●「スタツフ五人とババさん」
 なかちゃん　ちよつと美
 人です。

● すーさん あったかく
て、力もち。みんな大好き
めくさん。可愛いね。
● よっちゃん いつもマツ
クス元気印。
● ひーさん 怒ったら計測
不能。
● あおしゃんババ 皆群が
る あま〜いの。

みんな明るく元気で大き
くなりますように！

(ホーム長 角谷)



あおば **しらがば** (女子)

しらかばは平成二十五年十月から小規模となり、現在、八人が生活をしています。どんなホームかと考えた時、職員、子ども一人一人の顔が浮かび、思いがたくださいと一言で言い表すことができませんでした。

企画したいね」と言ってくれた子。良いホームにすることのために自分ができることは何かと悩んでくれる子。ホームのお姉ちゃんみたいになりたいんだと目標をもち、頑張って頑張っている子。みんなそれぞれの個性があつて良きがあります。意見があつては云ふことも良い。

たい」思っています。
「ホームでの取り組み」
 今年度は小規模としての
 取り組みを増やすべく
 ●ホーム外出●ホーム会●食
 事作り●誕生日会の四点到
 重きを置いた取り組みをし
 ています。

（ホーム外出）

については茶話会形式で話を
 します。今年度からの取り
 組みなのでまだ数回しか実
 施していませんが、今後も
 継続していきたいです。

《食事作り》
 今年度から回数を増やし、
 現在は月に二回の食事作
 りを行っています。調理

A group of people, including children and adults, are standing in a line outdoors. They are wearing traditional Japanese clothing, such as kimonos and a kimono with a large floral pattern. The background shows a street scene with buildings and a sign with Japanese characters.



(女子)

… 全体的な雰囲気というか、時間を守れない日が多く、さんあります。食事のマナーを注意される事も多いです。夜でも騒がしい時に注意をすると「もみじつ」には元気が取り柄だからいい」と返ってくることもさへあります。けんかもします。言い合いや無視。すれ違つて溝がでることも多々。大きな泣き声があふは館中に響き渡り、ほかのえのきのようにバラバラ

ホームの職員が見に来てくれることもちろはほら。

でも最近、泣いている小学生に対して「これやなくてみよか？」「などみんなてみよか？」などみんなてみよか？」を切り替える声をかけてくれるということがありました。いつもなら、誰かがその泣き声にうるさいと怒ったり、あっち行つて、煙たがったことには、一人もそうしたことはいずれ、みんなて温かくその

のようだけど根っ

つながる

篠原江里、岩田

森里 渡辺亮太
 小二人中
 が思い出をしっかりと持ち、相手に伝えることのできる子ばかりです。
 子どもたちは、自分がされた良いことも悪いことも何気ないことも、まねします。こういって、何気ない日常の温かな気持ちやホーームの中で一つ一つ積み重なって、周りに愛される素敵な女性に育ってくれると信じています。(ホーーム長 野村)

人高三人社

何気ない日常の温かな気持ちの積み重ね

川上知幸 野村花枝
福井由佳里

山本わか菜

小六人 中四人 高二人 計十二人

あおば **ひのき** (男子)

思いやりと笑顔が
ひのきは「思いやり」をテーマにして、みんながしっかりとテーマのことを考えて動いてくれます。また、高校生はまわりに対して優しく、ホームのことも気にかけてくれるので、とても大きな存在です。そして、子ども同士でホーム会を行うときは、一人一人が意見を言える環境も自然と

までホ豊ろみき行でい作
すごーかくを、っす出れ

ています。ことしの思
はGW外出とお盆外出
。GW外出では陶芸を
している林指導員宅へ
マイ茶碗・マイ湯の
作りました。給付けや
る体験でそれぞれ個性
な作品ができました。
ムでは、自分の茶わん
飯をおいしく食べてい
。お盆外出では吉良ワ

平尾圭一

直之 長友薫子

キビーチに行きまじり、のんびり日焼けし職員も一緒にビーチをして盛り上がり、思い出になりまし

高校三年生が就職試験を受けたとき、職員と子たちが一緒にお守りをしました。一人一人思い

小

人
中

をなまなま
しでし
いすの
さでホ
うホ

めてメッセージを書き
た。一つのことをみ
協力して取り組め
ムです。職員として
はひょっと恥ずか
が、ひのきが一番
ムだと思えます。い
気軽に遊びに来て

(ホーム長 竜)

このように、世の古給は、

十月二日、合同会議の席
かば館山本秋子心理士
村野知世保育士、辻本千
絵美児童指導員を特別
表彰した。三人は九月上旬、中学生二人
の問題行動に際し、迅速に対応し、他の
模範となった。

勤続表彰

十一月二日、次の皆さんを表彰した。
崎幸代、次郎皆さん、保育士、二十二年



6 4 山 半

山来事
 1年
 の

ボール大会の結果を話しながら「混ぜご飯、から揚げ、サラダをおいしく食べました。」

グラウンドでは、ソフトボールで投球、捕球の基本を学ぶ教室。日頃ソフトボールになじんでいるだけに、みんな小田さんのノックをきれいに捌き、最後に全員で「やりました」と声をそろえて感謝の気持ちを伝えました。

あいち小児保健医療総合センター主宰の「性の問題について考える会」が六月二十六日、学園多目的ホールで開かれました。多くの性情報にさらされている子どもたちの「性の問題」について施設で抱える課題を話しあい実践につなげる学びをするのが狙いで、同センター新井康祥医師の呼びかけで始まり六回目。愛知のほか、滋賀、岐阜県の施設、病院、児童相談センターなど六グループに分かれて子ども同士、子どもと大人間などで想定される性問題について話し合い。そのあと、おおば館、なかば館から過去の事例と対策などについて報告。性問題への理解を深めました。

十周年記念として中日新聞社会事業団へ「学園のために」と五百万円の寄付がありました。学園ではその使途を検討、マイクロバスが一台ありますが、近いうちに更新する必要があるため、マイクロバスの購入を決めました。

マイクロバスは青色、二十九人乗りで前日の十七日に納車。この日安藤正二代表取締役を迎え子どもたちが「ありがとうございました」とメッセージを添えて感謝の気持ちを伝えました。安藤さんは「大切に使用してください」と話していました。



ました。電気洗濯機二台、充電式乾電池と充電器一式。洗濯機は早速、故障して困っていたホームでフル回転、乾電池も役立っています。

学園職員研修の一つとして、アスペ・エルデの会事務局長の宮地菜穂子さんを講師に招き「スタップトレーニング」(STT)を六月から前期四回、後期三回計七回開いています。

たり、発達福祉施設では虐待されたり、発達障害を抱える子の入所が増え、職員には専門的知識とスキルが求められています。STプログラムの応用行動分析学、認知行動療法をベースに作られ、個別のニーズに応じた適切な支援のために必要となる理論、さまざまなコツやヒントを紹介、学園では、施設内研修として個々のスキルアップとともに、職員間の共通理解と協働による支援を学ぶのが狙いです。

あおば館わかば館全職員が参加、グループに分かれ、正しい現状把握、困った行動への対応、効果的な褒め方などを勉強しています。



スマートフォンの普及に伴い、無料通話アプリによるいじめなどさまざまな問題が起きています。十月一日、合同職員研修として外部の専門家を招き「保護者のためのスマホ教室」を開きました。

ブライバシー侵害、ゲームアプリで高額課金、コミュニティサイトでの性犯罪被害などの問題について実態と対策を学びました。



四月二十九日、五回目のつづきの会を開きました。退園生退職職員が年に一度学園に集まる催し。オープニングで和太鼓を披露、立食形式で昼食を取った後、退園生の嘉納英和さん、清真奈美さんが体験発表現職員も加わり、輪になって思い出や近況を話し合っていた。

名古屋市の音楽制作会社社長・島戸修史さんが児童福祉施設の子どもたちに音楽に親しんでもらうプロジェクトとして、五月十日、愛の音楽奏・音楽教室が学園多目的ホールで開かれました。

島戸さんらアーテュスト二組十一人が訪れ、「サザエさん」を子どもたちと一緒に歌ったり、プロのバンド演奏を披露。キーボード一台を寄贈され演奏の後、ギター、ドラムの指導も受けました。



あおば館節約委員会、林美歩、加藤有美子児童指導員が、水道代、電気代を節約しよう、と作成、各ホームに掲示、協力を呼びかけました。

平成二十五年、二十六年の月別料金をグラフで表示、二十六年はいずれも前年を上回っていることを目で分かるようにした。熱中症予防の

六月中旬、保護者から「子どもが瘦せた。虫歯がある。蚊に刺されている」など苦情がありました。毎月の健康診断では特に異常はなく、虫歯も治療中。遅れた蚊取り対策を講じました。

十月末、青葉まつりの会場撤収時、フークリフトの運用方法が適切でないとして、ボランティアの方から指摘があり、来年以降、注意することになりました。

中中作中ストスビ販組 ず策た

の五から十月上旬までに多くの方から寄付金、物品、招待のご支援をいただきました。シルバーウィーク外出に充てた児童の健全育成、安全対策などに役立ててまいります。ありがとうございます。

(敬称略、順不同)

愛知県美容養生活衛生同業組合、中日新聞印刷、中日新聞販売店、販売局、中日総合サービス、日進電氣、ヴエアリタックス、鬼頭昌子、丸新舎、ナゴヤドーム、中日新聞保険サービス、中日高速オフセット印刷、中日オフセット印刷、中日制作センター、中日アドレップ、中日サードビズ、木下サレックス、中部日本ビルディング、共生印刷、中日アド企画、中日シエージェンシー、横井太、中日新聞折込広告協同組合、中日企業、中日興業、西尾中日

サールセンター、岩瀬清角岡
 アルセンタ、杉田文紀、下坂
 新聞店、大角敏夫、ランブ
 行男、服部多豊子、真能秀久、古川
 博三、M、坂口照親、飯間晴
 谷俊明、M、大川原美樹、村元
 隆、洞泉寺、東海交通、通児を
 速く、速く、中日ドラゴンズ中
 励ます会、中日ドラゴンズ中
 ドラゴンズ公式ファンク
 ブ、東陽倉庫、夢シード、劇団
 飛行船、中部善意銀行、名古屋
 光開発、慈眼寺、マリオン、日
 店、親切会、中部支部、東海ア
 スクリーム協会、吉番屋、僕の
 Aパン、都筑ボッカザポロ
 フード&ビバレッジ、シボク
 プン、チュチュアンナ、中日新
 聞、若崎車売店、こどもハート
 合青年部会、愛知県遊技業協同組
 食糧、東ソー・ニッケミ

(単位：円)

あおば館		(単位: 円)		わかば館		(単位: 円)	
収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
1. 措置費	213,997.000	1. 人件費	158,029.000	1. 措置費	170,867.000	1. 人件費	137,725.000
2. 補助金	15,765.000	2. 事務費	16,367.000	2. 補助金	10,000.000	2. 事務費	14,235.000
3. 寄附金	4,700.000	3. 事業費	62,787.000	3. 寄附金	1,550.000	3. 事業費	31,202.000
4. 雑収入	4,600.000	4. 固定資産取得	1,384.000	4. 雑収入	3,040.000	4. 固定資産取得	1,000.000
5. 利息配当	5.000	5. 整備積立金	1,000.000	5. 利息配当	5.000	5. 整備積立金	1,300.000
6. 繰入金	3,000.000	6. 備品等購入	500.000	6. 繰入金	2,000.000	6. 備品等購入	500.000
7. 積立など 取崩収入	1,500.000	7. 修繕費積立	3,500.000	7. 積立預金 取崩収入	0	7. 修繕費積立	1,500.000
合 計	243,567.000	合 計	243,567.000	合 計	187,462.000	合 計	187,462.000

児童心理治療施設「わかば館」
電 話 0561 (74) 7752
ファクス 0561 (72) 7557

学園の子どもたちは、七つのホームで生活しています。安全と安心の^①基本は同じですが、家庭がそれぞれ違うように、ホームにもちよつとした違いがあります。その特色（自慢）をホーム長に書いてもらいました。普段の生活の様子を知っていただく一助になれば幸いです。

（M）